

2015年5月24日「み言に従い、親の願う息子・娘になろう」 石川祐司教会長

以下に、訓読のみ言を掲載いたします。

### <訓読のみ言>

『天聖經』

第八篇 信仰生活と修練 第二章 心と体の修練

第三節 信仰の修練

1 ヨハネによる福音書第三章十六節に、「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった」とあります。アメリカを愛し、教派を愛して、ひとり子を賜ったものではありません。世界のために賜ったのです。バプテスト教会や長老派教会のために賜ったものではありません。それで、先生は、はっきりと教えるのです。統一教会は、世界のために存在し、神様のために存在するのであって、先生のために存在するものではありません。ですから、先生は滅びません。統一教会は滅びません。神様が保護するからです。

すべての完成は、真の愛から始まります。全世界が真の愛を中心として、このような公式を適用して訓練しなければなりません。そのようにしなければ生きていけないというほど、習慣化しなければなりません。世界のどこに行っても、そのように生きなければならないのです。年老いた人を見れば、自分の祖父と祖母のように、父と母の年齢なら自分の父と母のように、自分の相対の年齢なら自分の妻や夫のように、息子、娘の年齢なら自分の子女のように、自分の年齢なら兄弟のように愛さなければなりません。それが習慣化しなければなりません。楽しくなければなりません。

**真の愛で**

2 川の水は、海に向かいます。地上は川の水と同じであり、霊界は海水と同じです。人間は誰でも霊界に行くようになりますが、淡水魚は、海水では死んでしまいます。突然入れば、窒息するのです。ですから、慣れなければなりません。統一教会は、その世界の内容を地上で訓練する所です。真の愛、ために生きる愛の活用訓練をさせる修練所が統一教会です。ために生きる愛の実体を形成するための修練所です。神様がために生きる愛で生きているので、ために生きる愛をもった場合、どこに行っても歓迎されます。どこに行っても反発がないのです。